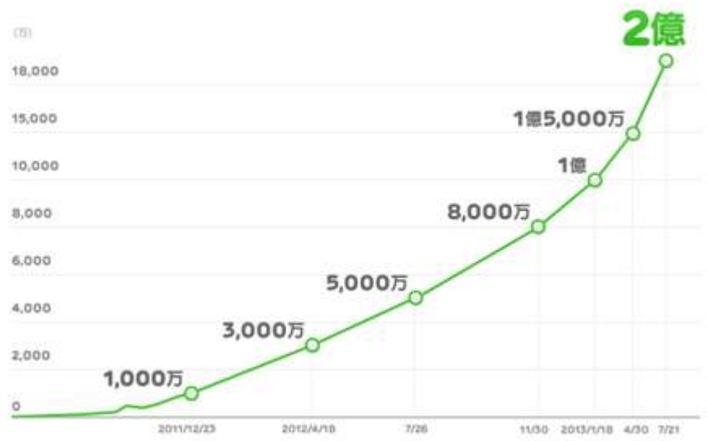
【LINE】「LINE」、世界2億ユーザーを突破

2013年07月23日

南米地域でも若年層を中心にユーザーが急拡大、1億ユーザー突破からわずか半年で2億ユーザーに到達

LINE株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：森川 亮）は、同社が運営する無料通話・無料メールスマートフォンアプリ『LINE（ライン）』（http://line.naver.jp/）の登録ユーザー数（iPhone／Android／Windows Phone／BlackBerry／Nokia Ashaアプリ・フィーチャーフォン総計）が、7月21日時点で世界2億人を突破いたしましたので、お知らせいたします。

■登録ユーザー数の推移グラフ



LINEは、マルチデバイス・マルチキャリア対応グループコミュニケーションサービスとして、2011年6月23日にサービスを開始。サービス公開から約23ヶ月となる2013年4月30日に世界1億5千万ユーザーを突破し、若年層を中心に世界中で利用が急拡大しています。

これまでに利用者数が多かった東アジアはもちろん、アジア地域では新たにインドやフィリピンなどでユーザーがのび、ヨーロッパ地域においてはスペイン、さらに南米地域ではブラジル、メキシコ、コロンビア、アルゼンチン、ペルーなどの国々でユーザーが急拡大しています。これらの地域において成長スピードが加速し、2013年1月18日の1億ユーザー突破からわずか半年の7月21日時点で、世界の利用者数が2億人を突破いたしました。

また、Google PlayにおいてAndroid版 LINEが2013年7月18日時点で1億ダウンロードを突破いたしました。Google Playで1億ダウンロードを突破したアプリは全部で26個、うちGoogle連携サービス・アプリを除外すると12個になります*。

このような実績を受け、今後は各国地域のユーザーのさらなる利便性の向上を目指し、各国の地域性や文化に根付いた公式アカウントやスタンプのローカライズもこれまで以上に積極的に推進してまいります。

日本においては、LINEを安心・安全に利用していただけるよう、これまでKDDI社の年齢確認サービスを活用して、18才未満のユーザーについてはID検索をできなくするなど青少年保護の対策を推進してまいりましたが、9月を目途に全てのキャリアに協力していただき年齢確認サービスを活用することを検討しています。また、今後iPhone端末にも青少年のID検索制限の導入を拡大することを検討しております。

そのほか、安全な利用方法について、日本全国の学校や団体などで講演を行うなど啓発活動を実施しています。安心・安全な利用を促進すべく、今後も積極的にこれらの取り組みを強化してまいります。

なお、今後の展開については8月21日に舞浜アンフィシアターにて開催するカンファレンス「Hello, Friends in Tokyo 2013」（ http://line.naver.jp/event/2013/ ）にて発表させていただく予定です。

LINEでは、これからも継続的な利便性の向上と機能拡充を行い、サービスを通じてよりユーザーの皆様の生活がより豊かに楽しくなるよう、世界中の人々の生活インフラになることを目指し邁進してまいります。

* http://en.wikipedia.org/wiki/List_of_most_downloaded_Android_applications